

PHILIPS

Seminar



第59回日本呼吸器学会学術講演会 コーヒーズブレイクセミナー17

日時 2019年4月13日(土) 16:30~17:30

会場 第7会場 (D5) 東京国際フォーラムD棟 5F

呼吸リハビリテーションの新たな展開： セルフマネジメントの向上を目指して

座長：津田 徹 先生 (医療法人社団恵友会 霧ヶ丘つだ病院)

演者：神津 玲 先生 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 理学療法学分野)

参加方法：整理券配布はございません。直接会場にお越しいただき、先着順にご入場いただきます。

共 催：第59回日本呼吸器学会学術講演会／フィリップス・レスピロニクス合同会社

第59回日本呼吸器学会学術講演会 コーヒーブレイクセミナー17

日時 2019年4月13日(土) 16:30~17:30 会場 第7会場(D5) 東京国際フォーラムD棟 5F

呼吸リハビリテーション新たな展開：セルフマネジメントの向上を目指して

神津 玲 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 理学療法学分野

呼吸リハビリテーション(リハ)の目標は、症状を軽減し、活動範囲を拡大するとともに、毎日の生活を充実させることである。昨今、呼吸リハにおいては患者と医療者が協働的なパートナーシップのもとで自己管理が可能となるように支援すること、すなわちセルフマネジメントとそのあり方が注目されている。セルフマネジメント教育とは、「健康問題を持つ人が疾患に関連する知識を得るだけではなく、自身が多様な価値観に基づき達成目標や行動計画を医療者と協働しながら作成し、問題解決のスキルを高め、自信をつけることにより健康を増進・維持するための行動変容をもたらす支援である」と定義されている(呼吸リハビリテーションに関するステートメント, 2018年)。つまり、基礎疾患および症状とその管理に関する知識や技術の習得による「気づき」を得ることで、望ましい生活習慣のための行動を患者自身で実践できるよう支援することである。

セルフマネジメントは呼吸リハに包含され、急性増悪の予防と管理のための行動計画(アクションプラン)を核とする教育指導を含むものである。また、運動療法や理学療法の実施と有機的に結びつけながら、繰り返しの確認やフィードバックと支援が有用である。本セミナーでは、セルフマネジメントの向上を目指した呼吸リハの新たな展開について、自験例も含めて解説させていただく予定である。

<略歴>

- 1989年 田上(たがみ)病院 理学療法科
- 1993年 聖隷三方原(せいれいみかたはら)病院 リハビリテーション科
- 2004年 長崎大学医学部・歯学部附属病院 リハビリテーション部
- 2010年 カーティン大学理学療法学部,
サー・チャールズ・ガードナー病院理学療法科(パース, オーストラリア)
- 2011年 長崎大学病院リハビリテーション部
- 2015年 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻 内部障害リハビリテーション学分野
- 2018年 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 理学療法学分野(改組)

フィリップス・レスピロニクス合同会社

〒108-8507 東京都港区港南二丁目13番37号フィリップスビル

www.philips.co.jp/healthcare/



© 2019 Philips Respironics GK